

## 令和元年秋期 応用情報技術者試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2019,12,20

10月20日(日)に行われた令和元年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、応用情報技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■応用情報技術者試験 (AP)

[令和元年秋期の応用情報技術者試験 統計情報]

応募者	50,643 人
受験者	32,845 人
合格者	7,555 人
合格率	23.0%

今回の応用情報技術者試験の合格率は23.0%で前回の21.5%よりも1.5%上がりました。合格率自体は平均よりもやや高い結果でした。

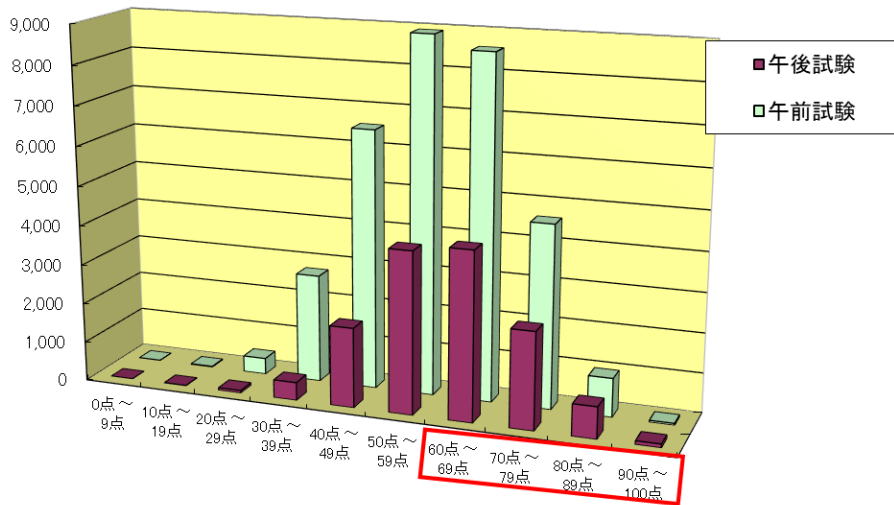
次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和元年秋期 応用情報技術者試験 スコア分布]

令和元年秋期 AP	応募者	受験者	合格者
人数	50,643	32,845	7,555
率		64.9%	23.0%

得点	午前試験	午後試験	合格者
0点～9点	8	3	
10点～19点	20	11	
20点～29点	409	63	
30点～39点	2,737	454	
40点～49点	6,537	2,008	
50点～59点	8,920	4,067	
60点～69点	8,586	4,231	
70点～79点	4,608	2,437	
80点～89点	976	796	
90点～100点	44	91	
計	32,845	14,161	7,555
対前試験比率		43.1%	53.4%
<b>合格者数</b>	<b>7,555</b>	採点者数の割合	合格者数との差
午前60点以上合計	14,214	43.3%	6,659
午後60点以上合計	7,555	53.4%	0

令和元年秋 応用情報技術者試験 得点分布



今回の令和元年秋期の午前試験では合格基準点の60点以上の人が14,214人で受験者の43.3%でした。前回の平成31年春期試験は45.3%でしたので、やや下がりました。

午後試験で合格基準点の60点以上を超えている人(合格者)は7,555人で、採点数の53.4%にあたります。前回の平成31年春期試験では47.6%でしたから、こちらは6%ほど上がっていて、前回よりも午後試験は得点しやすかったといえます。

ボーダラインといえる得点結果の人について、午前試験で50点以上60点未満の人が8,920人(受験者の27.2%)、午後試験で50点以上60点未満の人が4,067人(同28.7%)と、どちらも全体の1/4以上の人があと10点で合格できるラインにいます。この得点ゾーンの方は、合格まで“あと一步”のところにいるので、苦手と感じる分野を中心に早めに次の試験対策を始めてください。

## ■令和元年秋期 応用情報技術者試験 出題内容について

### (午前問題)

午前試験問題はここ数年、少しずつ難しくなる傾向がありますが、今回、過去問がやや難しいものが多かったといえますが、全体としては前回と同様の難易度だったといえます。問題種別では文章問題が44問から49問に増え、考察問題が14問から9問に減っています。

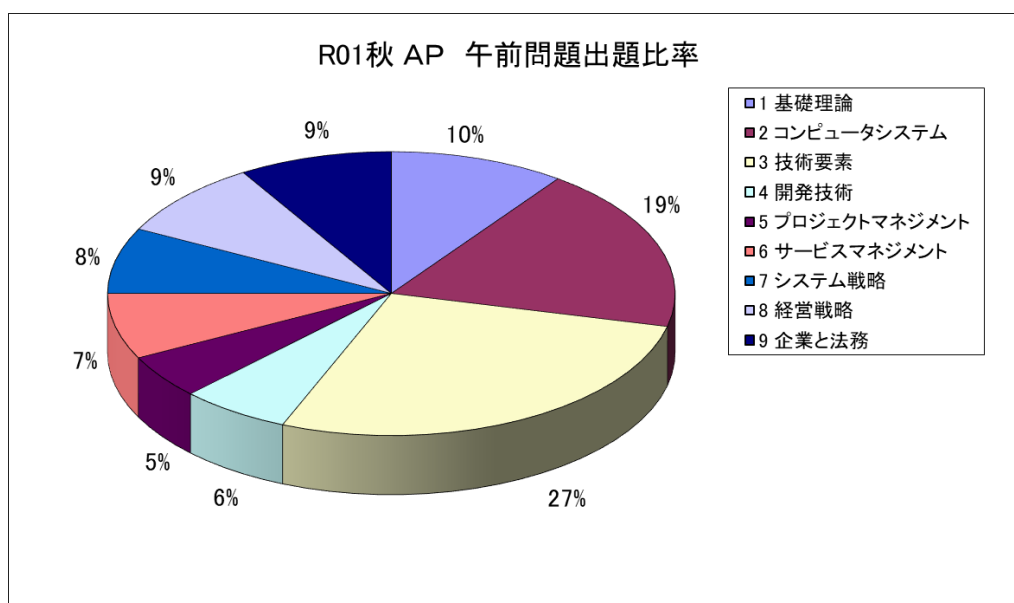
過去問題は全体の6割強で前回とほぼ同じです。また、応用情報技術者試験の過去問再出題は34問(前回33問)、基本情報の過去問は10問(前回3問)ありました。また、高度試験の午前IIからの出題は10問(前回16問)と減っています。

新傾向または新しい用語に関する問題は次の15問で、前回と同じ出題数です。なお、他の高度試験などで過去に出題されていてもAP試験で初めて出題された問題も含めています。

- 問4 AIの機械学習における教師なし学習
- 問11 DisplayPortの説明
- 問34 IPv6アドレスの表記
- 問35 フォワードプロキシの説明
- 問42 エクスプロイトキットの説明
- 問43 ダークネットにおいて観測されるもの
- 問49 アジャイル開発プラクティスを実践する考え方

- 問 51 PMO の役割の説明
- 問 55 ITIL におけるサービス・パッケージの説明
- 問 59 システム監査手続で利用する技法
- 問 63 オープンデータの説明
- 問 66 ファウンドリサービスの説明
- 問 71 RPA の説明
- 問 72 アカウントアグリゲーションの特徴
- 問 80 技適マークの説明

令和元年秋期の応用情報技術者試験 午前問題出題比率



〔午後問題〕

今回出題された問題は、問 3 のプログラミングの問題が新傾向の AI 関連のニューラルネットワークに関するテーマでしたが、内容的には配列処理と計算でした。問 5 のネットワークの問題がやや難でしたが、それ以外は平均的なレベルが多く、全体として例年通りの難易度だったといえます。

午後の試験対策としては、各問題の出題テーマに関連する午前試験レベルの知識を確実に理解して、問題事例に適用できるように、しっかり演習と復習を行う必要があります。

- 問 1 標的型サイバー攻撃（情報セキュリティ） 普通
- 問 2 スマートフォン製造・販売会社の成長戦略（経営戦略） 普通～やや難
- 問 3 ニューラルネットワーク（プログラミング） 普通～やや難
- 問 4 セキュリティシステムの実証実験（システムアーキテクチャ） 普通
- 問 5 HTTP/2（ネットワーク） やや難
- 問 6 健康応援システムの構築（データベース） 普通～やや難
- 問 7 学習機能付き赤外線リモートコントローラの設計（組み込みシステム開発） 普通
- 問 8 道路交通信号機の状態遷移設計（情報システム開発） 普通
- 問 9 複数拠点での開発プロジェクト（プロジェクトマネジメント） 普通～やや難
- 問 10 IT サービスマネジメントの改善（サービスマネジメント） 普通
- 問 11 購買業務のシステム監査（システム監査） 普通

itec